

がん免疫療法

Cancer Immunotherapy

様々な戦略で、ヒトの免疫系を強化して、がんを排除しようとするのが免疫療法です。手術療法・化学療法・放射線療法に次ぐ新たながん治療戦略として注目されており、積極的に臨床開発が進められています。

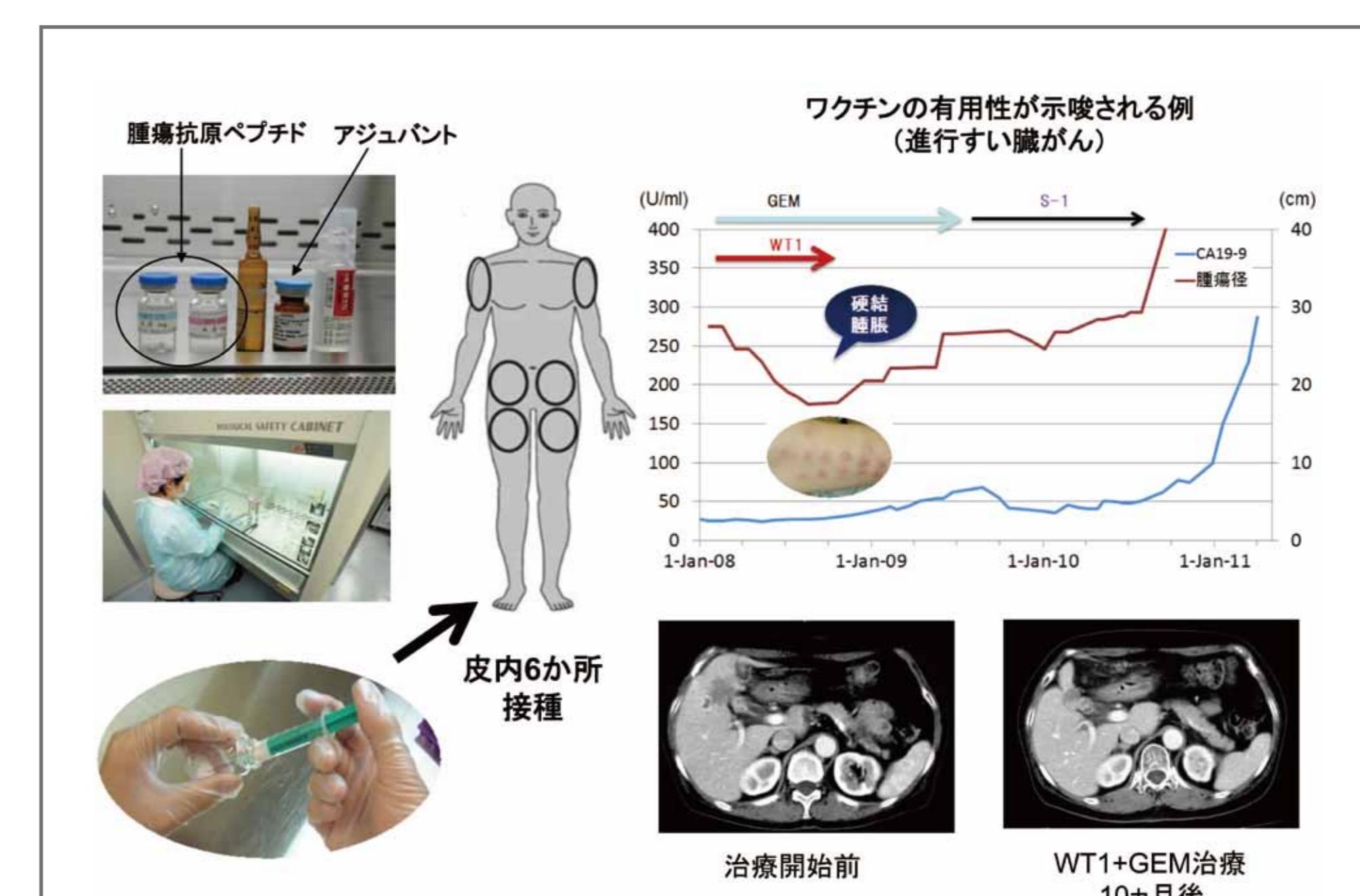
新たながん治療法として期待される免疫療法

ヒトの免疫を活性化させることで、がんの増殖を抑制できることが、様々な基礎実験や臨床研究で明らかとなり、免疫療法が俄然脚光を浴びるようになっています。

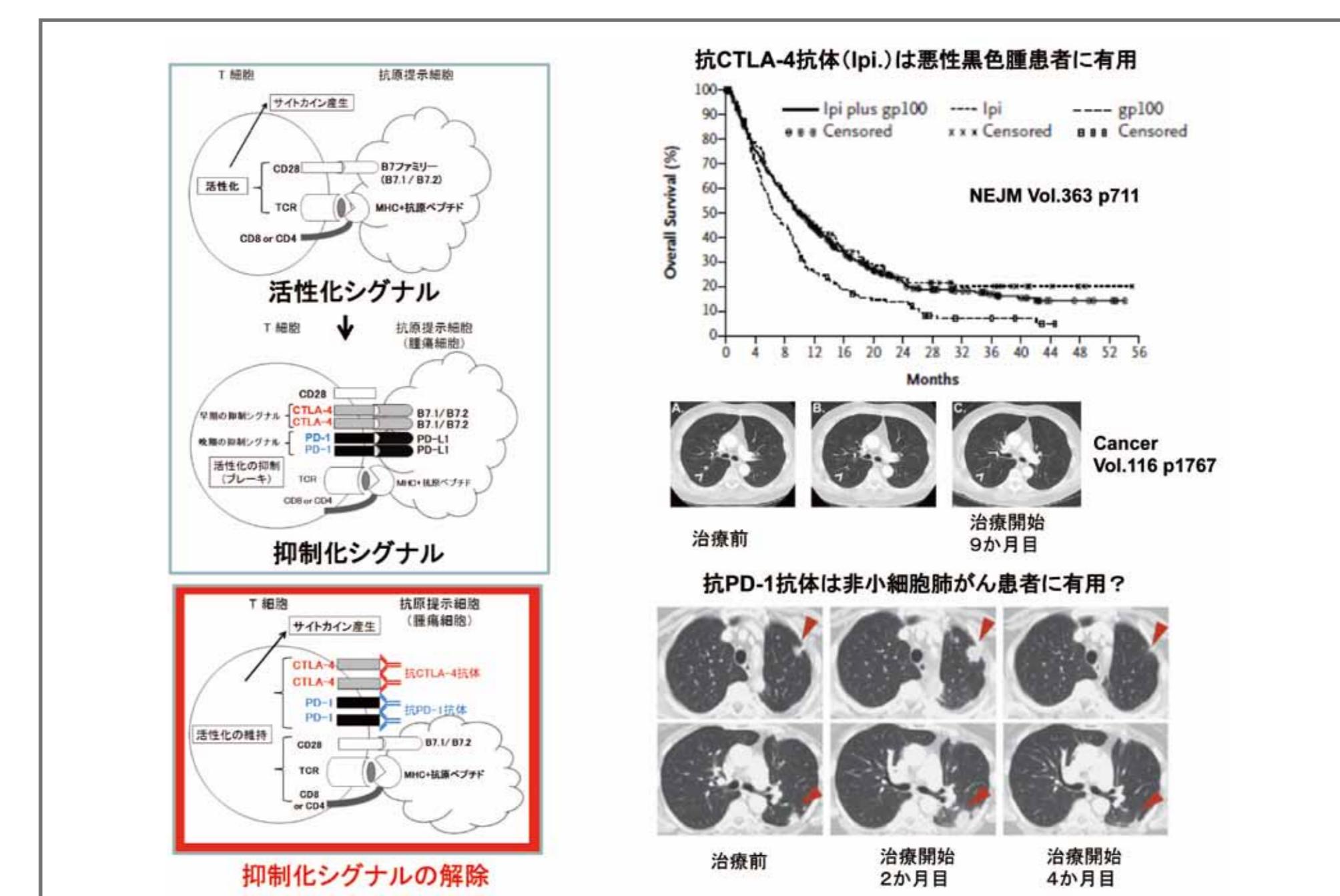
わが国では、菌体成分などを用いて免疫全体を活性化させる治療や、活性化リンパ球を用いた細胞免疫療法がおこられてきましたが、これらは明確な治療的有用性を示すまでには至りませんでした。

近年、より科学的な背景を踏まえ、ペプチドワクチン療法や、樹状細胞療法、免疫抑制解除抗体療法、免疫賦活化抗体療法の臨床試験が行われ、その中には、抗がん剤に匹敵する治療効果が報告されているものもあります。さらには、抗腫瘍効果を強化する遺伝子を導入したリンパ球を用いる遺伝子免疫療法の開発も行われており、その有効性が期待されています。

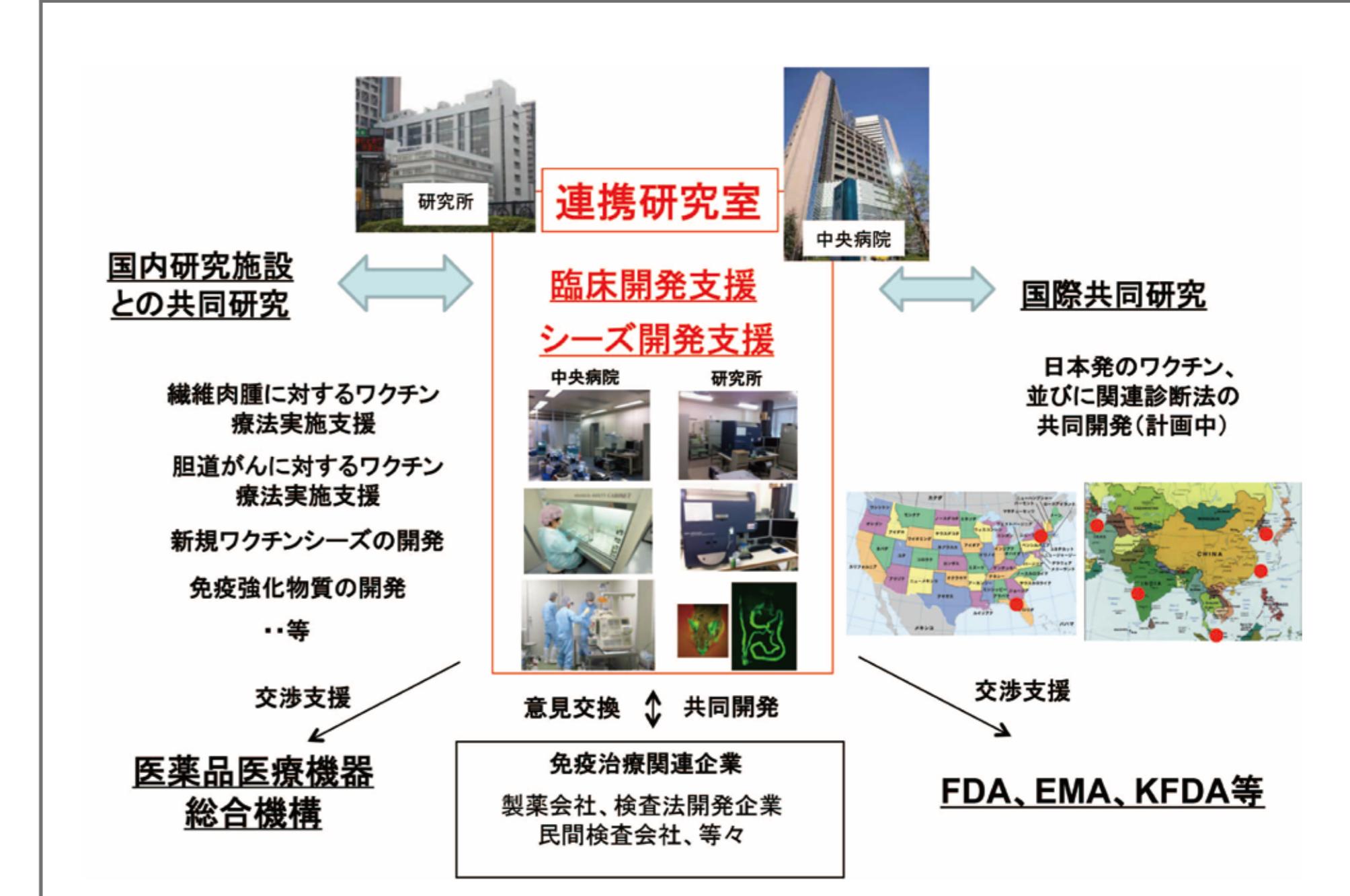
国立がん研究センターでも、全国の研究機関、民間企業と協同して、がん免疫療法の開発に積極的に取り組んでいます。



国立がん研究センターで行っているペプチドワクチン療法



期待される免疫抑制解除療法



国立がん研究センターの免疫治療開発への取り組み